

第108期 (2021年2月15日)	
基準価額	9,559円
純資産総額	52,640百万円
第103期～第108期 (2020年8月18日～2021年2月15日)	
騰落率	5.7%
分配金合計	120円

※騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記の弊社ホームページを開き「ファンド」より当ファンドの名称を選択いただき、さらに「運用報告書（全体版）」を選択いただきますと運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。
- 書面での運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

ピクテ・アセット・アロケーション・ファンド(毎月分配型) 愛称 ノアリザーブ

追加型投信／内外／資産複合

第103期(決算日2020年9月15日) 第106期(決算日2020年12月15日)
第104期(決算日2020年10月15日) 第107期(決算日2021年1月15日)
第105期(決算日2020年11月16日) 第108期(決算日2021年2月15日)

作成対象期間：2020年8月18日～2021年2月15日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、「ピクテ・アセット・アロケーション・ファンド（毎月分配型）」は、このたび、第108期の決算を行いました。

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主に日本を含む世界の株式および公社債ならびに金（デリバティブ取引を含めます。）等に投資することにより信託財産の成長と利子・配当等収益の確保を図ることを目的としております。

当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

ピクテ投信投資顧問株式会社

東京都千代田区丸の内2-2-1

お問い合わせ窓口

投資信託営業部

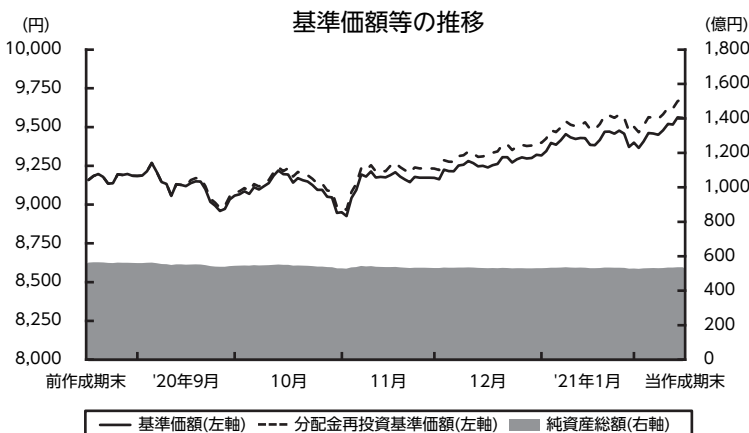
電話番号 03-3212-1805

受付時間：委託者の営業日の午前9時から午後5時まで

ホームページ：www.pictet.co.jp

運用経過

基準価額等の推移



第103期首 : 9,159円
第108期末 : 9,559円
(既払分配金 120円)
騰落率 : 5.7%
(分配金再投資ベース)

- ・分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

基準価額の主な変動要因

- 上昇▲ ・実質的に組入れている株式の価格が上昇したこと
- 上昇▲ ・実質的に組入れている株式や債券からの配当・利金収入
- 下落▼ ・実質的に組入れている金の価格が下落したこと
- 下落▼ ・円に対して米ドルが下落したこと
- 下落▼ ・実質的に組入れている債券の価格が下落したこと

1万口当たりの費用明細

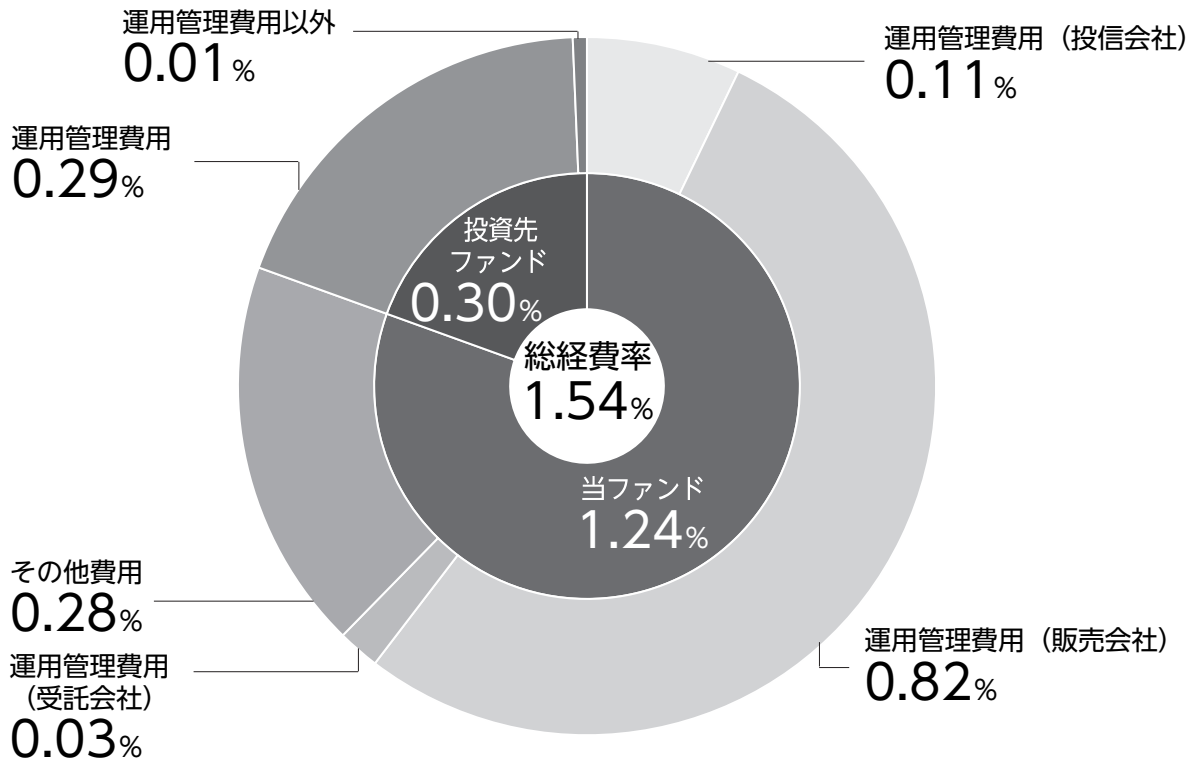
項目	当学期(第103期~第108期) (2020年8月18日~2021年2月15日)		項目の概要
	金額	比率	
平均基準価額	9,180円	—	作成期中の平均基準価額(月末値の平均値)です。
(a) 信託報酬 (投信会社)	44円 (5)	0.483% (0.055)	(a) 信託報酬=作成期中の平均基準価額×信託報酬率 ・ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、各種情報提供等、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(38)	(0.411)	・購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続等の対価
(受託会社)	(2)	(0.016)	・ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料 (投資信託証券)	1 (1)	0.009 (0.009)	(b) 売買委託手数料=作成期中の売買委託手数料÷作成期中の平均受益権口数 ・売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.000 (0.000)	(c) 有価証券取引税=作成期中の有価証券取引税÷作成期中の平均受益権口数 ・有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用)	13 (0)	0.142 (0.001)	(d) その他費用=作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数 ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.001)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(13)	(0.140)	・その他は、一部の組入れ投資信託証券の管理報酬および目論見書、運用報告書等法定の開示書類の作成等に要する費用その他信託事務の処理等に要する諸費用
合計	58	0.634	

- ・上記の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、設定・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- ・各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、各項目毎に小数第3位未満は四捨五入しています。
- ・各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては後掲「組入投資信託証券の内容」に表示することとしています。
- ・各金額の円未満は四捨五入しています。

(参考情報)

○総経費率

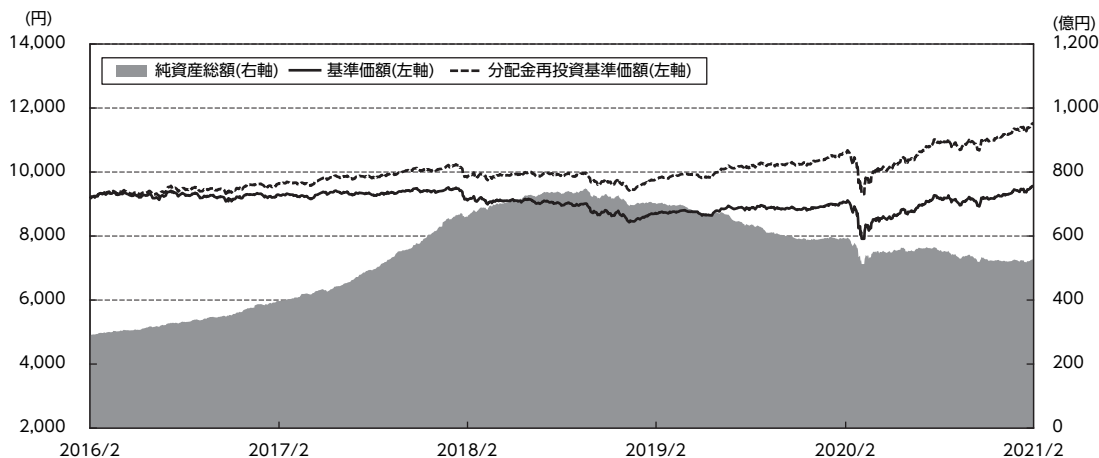
当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.54%**です。



総経費率 (①+②+③)	1.54%
①当ファンドの費用の比率	1.24%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.29%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.01%

- ・①の費用は、「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したものです。
- ・各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
- ・各比率は、年率換算した値です。
- ・投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券です。
- ・①の費用のうち、その他費用には一部の投資先ファンドの運用管理費用が含まれます。
- ・①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- ・③その他費用の比率が入手できない投資信託証券の場合、②運用管理費用の比率に総経費率を集計しています。
- ・上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移 (2016/2/15~2021/2/15)



- ・分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- ・分配金再投資基準価額は、2016年2月15日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

決算日	2016/2/15	2017/2/15	2018/2/15	2019/2/15	2020/2/17	2021/2/15
基準価額 (円)	9,174	9,280	9,117	8,694	9,045	9,559
期間分配金合計 (税引前、円)	—	360	360	360	360	260
分配金再投資基準価額騰落率	—	5.16%	2.11%	-0.71%	8.36%	8.80%
純資産総額 (百万円)	28,922	39,666	66,027	70,049	59,186	52,640

- ・分配金再投資基準価額騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものと計算しています。分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- ・当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定していません。

- ・世界の株式市場は、前作成期末から10月にかけては、欧州などで新型コロナウイルスの感染再拡大が懸念されたほか、米国の追加経済政策や米大統領選を巡る不透明感も意識され、不安定な動きを伴いながら下落しました。11月から12月にかけては、米大統領選でバイデン氏が勝利し政治的な不透明感が後退したことや、新型コロナウイルスワクチンの実用化への期待が高まったことなどを背景に上昇しました。2021年1月から当作成期末にかけても、米ジョージア州における上院決選投票で民主党が勝利し、追加経済対策への期待が高まったことなどから上昇となり、期を通じてみても世界の株式市場は上昇しました。
- ・世界の債券市場は、前作成期末から10月にかけては、大規模な財政政策を掲げるバイデン氏が優勢と見られたことなどが下押し（利回りは上昇）圧力となった一方で、欧米では新型コロナウイルス第2波への懸念などを背景に、おおむね底堅い展開となりました。その後11月から12月にかけては、米大統領選でバイデン氏が勝利し大規模財政政策への期待が高まったことや、新型コロナウイルスのワクチン実用化の見通しなどを背景に下落（利回りは上昇）することもありましたが、概ね横ばいとなりました。2021年1月から当作成期末にかけては、米ジョージア州における上院決選投票で民主党が勝利し財政支出拡大が意識されたことや、米連邦準備制度理事会（FRB）が早期に資産購入政策の縮小（テーパリング）に踏み切るとの観測が高まったことなどから下落（利回りは上昇）しました。期を通じてみれば世界の債券市場は下落（利回りは上昇）しました。
- ・金価格は、前作成期末から11月にかけては、主要先進国の一部の経済指標が予想を上回って改善したほか、新型コロナウイルスのワクチン開発期待が高まったことなどから、逃避需要が後退し金は軟調な展開となりました。12月は、米連邦公開市場委員会（FOMC）で金融緩和の継続が示されたことなどをを受けて、金は反発しました。2021年1月から当作成期末にかけては、米国の金利や米ドルが上昇したことなどを背景に再び下落しました。期を通じてみれば、金価格は下落しました。
- ・為替市場は、前作成期末から10月にかけては、欧州における新型コロナウイルスの感染拡大懸念が再び深刻化したことや、米国における追加経済対策を巡る不透明感などから米ドルは円に対して下落しました。11月から12月にかけても、FOMCで金融緩和政策の継続が表明されたことなどから、米ドルは円に対して下落しました。2021年1月から当作成期末にかけては、米長期金利が上昇したことなどを背景に米ドルは円に対して上昇しましたが、期を通じてみれば円高・米ドル安となりました。

当該投資信託のポートフォリオ

以下の投資信託証券への投資を通じて、主に日本を含む世界の株式および公社債ならびに金（デリバティブ取引を含めます。）等に投資することにより信託財産の成長と利子・配当等収益の確保を図ることを目的に運用を行ってまいりました。

資産名	投資先ファンド	組入比率		
		前作成期末	当作成期末	増減
債券 (為替ヘッジあり)	ピクテ円インカム・セレクト・ファンドⅡ (適格機関投資家専用)	5.1%	4.9%	-0.3%
	ピクテグローバル・フィクスト・インカム・ オポチュニティーズ	3.6%	3.3%	-0.2%
	ピクテグローバル・サステイナブル・クレジット	3.2%	2.0%	-1.2%
	ピクテ・ハイインカム・ソブリン・ファンド (適格機関投資家専用) 為替ヘッジコース	2.6%	2.0%	-0.6%
債券 (為替ヘッジなし)	ピクテUSDガバメント・ボンド	20.5%	17.7%	-2.8%
	ピクテユーロボンド	7.2%	6.9%	-0.3%
	ピクテチャイニーズ・ローカル・カレンシー・ デット	1.5%	4.1%	+2.5%
	iシェアーズ グローバル物価連動国債 UCITS ETF	-	3.5%	+3.5%
	iシェアーズ 米国公債 20年超 ETF	4.4%	-	-4.4%
債券 合計		48.2%	40.9%	-7.3%
株式	ピクテ・コア・エクイティ・ファンド (適格機関投資家専用)	16.5%	13.1%	-3.4%
	ピクテグローバル・エンバイロメンタル・ オポチュニティーズ	5.3%	6.1%	+0.8%
	ピクテグローバル・メガトレンド・セレクション	-	5.1%	+5.1%
	ピクテエマーシング・マーケット	3.0%	5.0%	+1.9%
	iシェアーズ エッジMSCIワールド・バリュー・ ファクター UCITS ETF	-	2.7%	+2.7%
	ピクテ・セキュリティ・ファンド (適格機関投資家専用)	2.1%	2.3%	+0.2%
	ピクテデジタル	2.7%	2.3%	-0.4%
	Xトラックーズ・ハーベストCSI 300中国A株 ETF	2.1%	1.8%	-0.2%
	iシェアーズ・コアSPI ETF (CH)	-	1.1%	+1.1%
	iシェアーズ グローバル・ウォーター ETF	1.6%	1.0%	-0.6%
	ピクテヘルス	1.6%	-	-1.6%
	PGSF-グローバル・ユーティリティーズ・ エクイティ・ファンド	1.1%	-	-1.1%
	iシェアーズ グローバル生活必需品 ETF	1.0%	-	-1.0%
iシェアーズ ゴールド・プロデューサー ETF	0.6%	-	-0.6%	
株式 合計		37.5%	31.6%	-5.9%
金	ピクテ (CH) プレシャス・メタル・ファンダー フィジカル・ゴールド	13.1%	10.5%	-2.6%

・“PGSF”は「ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド」の略称です。以下当略称で表記する場合があります。-印は組入れがありません。

- ・前作成期末から8月末にかけては、債券の組入れを引き下げました。債券部分では、米国超長期国債を一部売却するなどして、金利リスクを低減しました。
- ・9月は、株式や債券、金の組入れを引下げ、キャッシュの組入れを引き上げました。株式部分では、デジタル・コミュニケーション関連企業株式やセキュリティ関連企業株式などの組入れを引き下げ、一部を世界生活必需品関連株式やヘルス関連株式、スイス株などのディフェンシブ性の高い銘柄にシフトしました。また、中国株式についても組入れを引き下げました。債券部分では、米国超長期国債を一部削減し、世界インフレ連動債を新たに組み入れました。また、新興国米ドル建て国債を一部売却し、中国人民元建て債券を買い増しました。また、金については利益確定の為、一部売却しました。
- ・10月は、資産配分は概ね前月の組入比率を維持し、各資産の銘柄入替えを行いました。株式部分では、ヘルスケア関連株式を売却し、スイス株にシフトするなどしました。債券部分では、米国超長期国債を一部削減しました。一方で、世界インフレ連動債を追加で買い増しました。
- ・11月は、株式や債券の組入れを引き上げ、金やキャッシュなどの組入れを削減しました。株式部分では、ヘルスケア関連株式やスイス株式、世界生活必需品関連株式など、ディフェンシブ性の高い銘柄の組入れを大幅に引き下げました。一方で、世界バリュー株式を新たに組み入れた他、中国株式や新興国株式を買い増しました。その他、テーマ戦略株式に新たに投資するなどしました。債券部分では、米国超長期国債を全部売却し、金利感応度を抑えた他、世界インフレ連動債を追加で購入しました。また、新興国米ドル建て国債や中国人民元建て債券を購入するなどしました。
- ・12月は、株式や金の組入れを引き上げ、債券の組入れを削減しました。株式部分では、テーマ戦略株式を中心に株式の組入れを引き上げました。また、コア・エクイティ・ファンドや世界ウォーター関連株式の一部を売却しました。債券部分では、世界サステナブル企業債券やユーロ建て債券などの組入れを削減しました。その他、金の組入れを引き上げるなどしました。
- ・2021年1月から当作成期末にかけては、債券や金の組入れを引き下げ株式の組入れを引き上げました。株式部分では、世界ウォーター関連株式の組入れを引き下げ、世界バリュー株式にシフトするなどしました。債券部分では、米ドル建て公共債券を一部売却しました。一方で、世界インフレ連動債を買い増したほか、中国人民元建て債券を追加で購入するなどしました。

当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定していません。

分配金

当作成期中の1万口当たり分配金（税引前）は以下のとおりといたしました。
なお、留保益については、元本部分と同一の運用を行います。

◆分配金および分配原資の内訳

(単位：円・%、1万口当たり、税引前)

項目	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期	第108期
	自 2020年8月18日 至 2020年9月15日	自 2020年9月16日 至 2020年10月15日	自 2020年10月16日 至 2020年11月16日	自 2020年11月17日 至 2020年12月15日	自 2020年12月16日 至 2021年1月15日	自 2021年1月16日 至 2021年2月15日
当期分配金	20	20	20	20	20	20
(対基準価額比率)	0.218	0.217	0.217	0.216	0.212	0.209
当期の収益	18	20	17	20	20	20
当期の収益以外	1	—	2	—	—	—
翌期繰越分配対象額	731	768	765	814	1,002	1,133

- ・対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、当ファンドの収益率とは異なります。
- ・「当期の収益」および「当期の収益以外」は小数点以下を切捨てて表示しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。
- ・この様式で示される「当期の収益」は、当ファンドが投資する投資先ファンドからの分配金を受取った場合、実質的に「当期の収益以外」の原資が含まれて表示されることがあります。

今後の運用方針

投資信託証券への投資を通じて、主に日本を含む世界の株式および公社債ならびに金等を投資対象とし、信託財産の成長と利子・配当等収益の確保を図ることを目的に運用を行っていく方針です。

当面は現状のリスク水準を概ね維持する方針です。世界の株式市場は、米国の大型追加経済対策や新型コロナウイルス・ワクチンへの期待などを背景に力強い上昇が続いており、割高感が強まっています。また、足元では米個人投資家の投機的な取引などによって株価が調整したこともあり、市場の警戒感が強まっているとの見方もあります。しかし、良好なマクロ経済環境に大きな変化はなく、この調整は一時的と見ているほか、1月下旬のFOMCでは現行の金融政策を当面継続する考えが示されるなど、流動性も相場の下支えになると考えています。このため、ワクチン接種拡大の遅れや信用不安の台頭などの事態に陥らない限り、現状のやや強気な投資スタンスを継続する方針です。一方で、FRBがインフレ警戒のため予想よりも早めにテーパリング（資産買入額の減額）に踏み切れればドル高に振れる可能性もあるため、その動向を注視しつつ金の配分をやや抑制気味にすることも検討します。

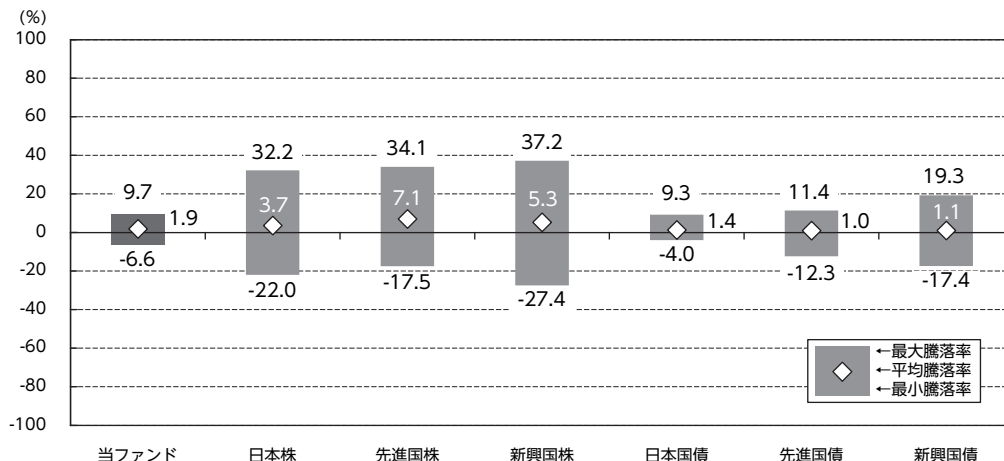
お知らせ

投資対象とする投資信託証券の追加および名称変更に伴い、所要の約款変更を行いました。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2012年2月29日（当初設定日）から無期限です。
運用方針	主に投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長と利子・配当等収益の確保を図ることを目的に運用を行います。
主要投資対象	投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	<p>①投資信託証券への投資を通じて、主に日本を含む世界の株式および公社債ならびに金（デリバティブ取引を含めます。）等に投資することにより信託財産の成長と利子・配当等収益の確保を図ることを目的に運用を行います。</p> <p>②投資信託証券への投資にあたっては、委託者が各資産の収益とそのリスク見通しを分析して指定投資信託証券の中から選択し、その配分比率を決定します。また、組入資産および配分比率については、適宜見直しを行います。</p> <p>③外貨建資産については、為替ヘッジが必要と判断した場合は為替ヘッジを行うことがあります。</p>
主な投資制限	<p>①投資信託証券への投資割合には制限を設けません。</p> <p>②投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託の受益証券以外の有価証券への直接投資は行いません。</p> <p>③外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。</p>
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、基準価額の水準および市況動向等を勘案して委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。</p> <p>③留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>

代表的な資産クラスとの騰落率の比較 (2016年2月末～2021年1月末)



○上記グラフは、対象期間中の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものであり、当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。各資産クラスについては以下の指数に基づき計算しております。

○各資産クラスの指標

- 日本株 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
- 先進国株 MSCIコクサイ指数 (税引前配当込み、円換算)
- 新興国株 MSCIエマージング・マーケット指数 (税引前配当込み、円換算)
- 日本国債 NOMURA-BPI国債
- 先進国債 FTSE世界国債指数 (除く日本、円換算)
- 新興国債 JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円換算)

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジをしない投資を想定して、ドルベースの各指数を委託者が円換算しております。

- ・すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率であり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なります。
- ・騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

当該投資信託の組入資産の内容

(2021年2月15日現在)

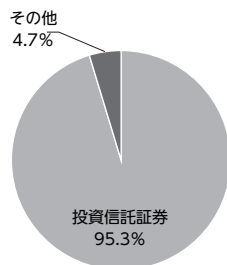
■組入ファンド

(組入銘柄数：19銘柄)

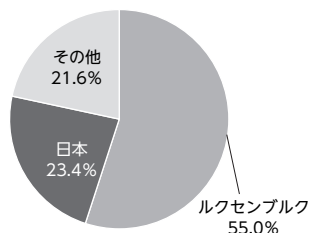
ファンド名	第108期末 2021年2月15日
ピクテ-USDガバメント・ボンド	17.7%
ピクテ・コア・エクイティ・ファンド (適格機関投資家専用)	13.1%
ピクテ (CH) プレシヤス・メタル・ファンドーフィジカル・ゴールド	10.5%
その他	54.0%

- ・比率は当ファンドの純資産総額に対する各組入ファンドの評価額の割合です。
- ・全組入ファンドの状況については6ページをご参照ください。また、詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載されています。

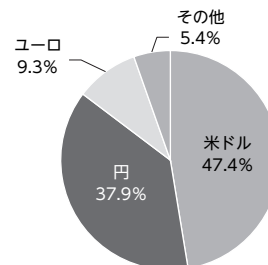
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



- ・資産別配分の比率は当ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分および通貨別配分の比率は当ファンドの組入投資信託証券の評価額合計に対する割合です。

純資産等

項目	第103期末 2020年9月15日	第104期末 2020年10月15日	第105期末 2020年11月16日	第106期末 2020年12月15日	第107期末 2021年1月15日	第108期末 2021年2月15日
純資産総額	54,230,117,327円	54,014,400,435円	52,737,247,155円	52,109,718,978円	52,367,072,779円	52,640,043,304円
受益権総口数	59,348,761,322口	58,751,598,020口	57,385,264,636口	56,401,883,739口	55,544,871,058口	55,066,414,552口
1万口当たり基準価額	9,138円	9,194円	9,190円	9,239円	9,428円	9,559円

- ・当作成期中における追加設定元本額は4,695,694,583円、同解約元本額は10,044,910,621円です。

組入上位ファンドの概要

ピクテ－USDガバメント・ボンド

(2020年9月30日現在)

■基準価額の推移



・基準価額の推移は当組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

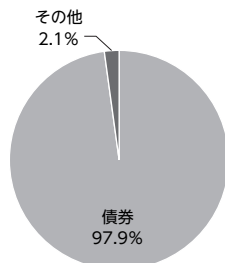
■組入上位10銘柄

(組入銘柄数：67銘柄)

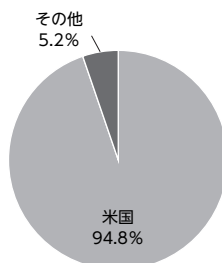
	銘柄	比率
1	0.25% US TREASURY 20/23 -SR-	4.5%
2	1.875% US TREASURY 17/22	4.1%
3	2.00% US TREASURY 15/25 'E'	4.0%
4	6.00% US TREASURY 96/26	3.9%
5	2.25% US TREASURY 17/27	3.7%
6	6.50% US TREASURY 96/26	3.1%
7	2.00% US TREASURY 17/24 SM24	3.0%
8	6.375% US TREASURY 97/27	3.0%
9	2.25% US TREASURY 19/49 -SR-	2.9%
10	0.25% US TREASURY 20/25 -SR-	2.8%

・比率は当組入ファンドの純資産総額に対する割合です。
 ・全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

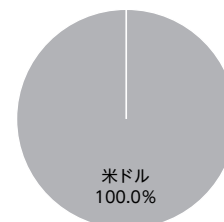
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



・資産別配分の比率は当組入上位ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分および通貨別配分の比率は当組入上位ファンドの組入有価証券の評価額合計に対する割合です。

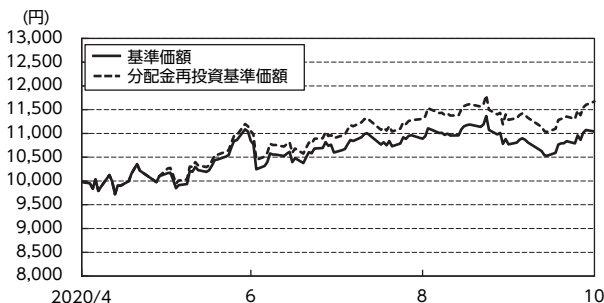
■1万口当たりの費用明細

当該情報につきましては開示されていないため、記載することができません。なお、損益計算書については運用報告書（全体版）に記載されています。

ピクテ・コア・エクイティ・ファンド (適格機関投資家専用)

(2020年10月12日現在)

■基準価額の推移



・分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

■1万口当たりの費用明細

(2020/4/11～2020/10/12)

項目	当期
(a) 信託報酬 (投資会社) (販売会社) (受託会社)	36円 (33) (1) (2)
(b) 売買委託手数料 (株式) (投資信託証券) (先物・オプション)	2 (2) (0) (0)
(c) 有価証券取引税 (株式) (投資信託証券)	1 (1) (0)
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	8 (5) (3) (0)
合計	47

- ・上記項目の概要については2ページ（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。
- ・当組入上位ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当組入上位ファンドに対応するものを含みます。
- ・円未満は四捨五入しています。

・基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は当組入上位ファンドの直近の作成期間のものです。

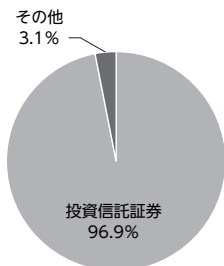
■組入ファンド

(組入銘柄数：3銘柄)

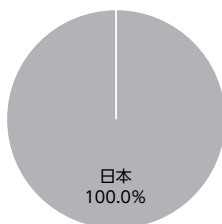
ファンド名	比率
ピクテ・グローバル・テーマ・オポチュニティーズ・マザーファンド	42.4%
ピクテ・グローバル・ディフェンシブ・エクイティ・マザーファンド	32.2%
ピクテ・メジャー・プレイヤーズ・マザーファンド	22.4%

・比率は当組入上位ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

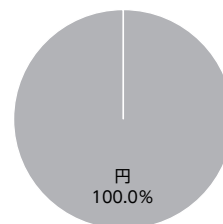
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



・比率は当組入上位ファンドの純資産総額に対する割合です。

(ピクテ・グローバル・テーマ・オポチュニティーズ・マザーファンド)

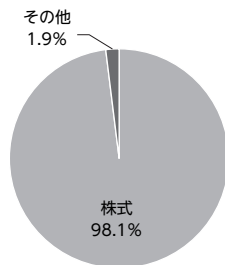
■組入上位10銘柄

(組入銘柄数：60銘柄)

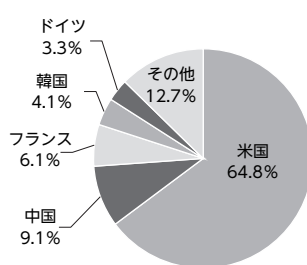
	銘柄	比率
1	THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	3.6%
2	ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR	3.2%
3	UNITEDHEALTH GROUP INC	3.1%
4	FIDELITY NATIONAL FINANCIAL	3.0%
5	ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN	2.8%
6	KERING	2.7%
7	SYNOPSIS INC	2.6%
8	KLA CORPORATION	2.5%
9	BOSTON SCIENTIFIC CORP	2.5%
10	APPLIED MATERIALS INC	2.4%

- ・比率は当マザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。
- ・全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

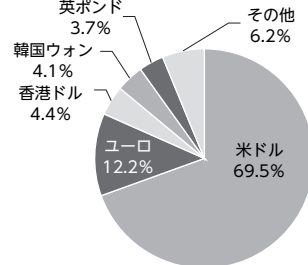
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



- ・資産別配分の比率は当マザーファンドの純資産総額に対する割合、国別配分および通貨別配分の比率は当マザーファンドの組入有価証券の評価額合計に対する割合です。

(ピクテ・グローバル・ディフェンシブ・エクイティ・マザーファンド)

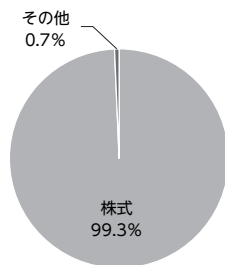
■組入上位10銘柄

(組入銘柄数：120銘柄)

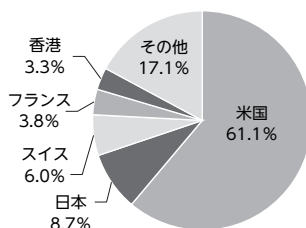
	銘柄	比率
1	TEXAS INSTRUMENTS INC	2.1%
2	MASTERCARD INC-A	2.0%
3	ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN	2.0%
4	APPLE INC	2.0%
5	MONDELEZ INTERNATIONAL INC-A	1.9%
6	MICROSOFT CORP	1.9%
7	HONG KONG EXCHANGES & CLEAR	1.9%
8	SANOFI	1.9%
9	EBAY INC	1.9%
10	NOVO NORDISK A/S-B	1.8%

- ・比率は当マザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。
- ・全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

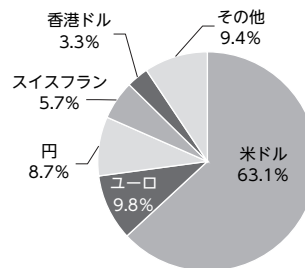
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



- ・資産別配分の比率は当マザーファンドの純資産総額に対する割合、国別配分および通貨別配分の比率は当マザーファンドの組入有価証券の評価額合計に対する割合です。

(ピクテ・メジャー・プレイヤーズ・マザーファンド)

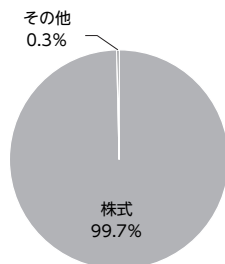
■組入上位10銘柄

(組入銘柄数：67銘柄)

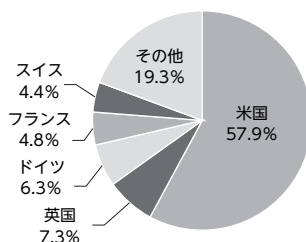
	銘柄	比率
1	MICROSOFT CORP	4.6%
2	APPLE INC	4.1%
3	ALPHABET INC-CL C	3.8%
4	ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN	2.5%
5	VISA INC-CLASS A SHARES	2.5%
6	SAMSUNG ELECTR-GDR REGS 144A	2.4%
7	NIKE INC CL-B	2.2%
8	WALMART INC	2.2%
9	JOHNSON & JOHNSON	2.1%
10	BLACKROCK INC	2.0%

- ・比率は当マザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。
- ・全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

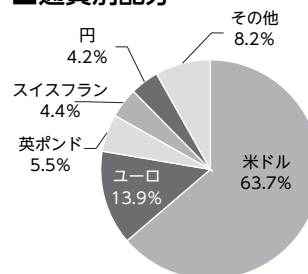
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



- ・資産別配分の比率は当マザーファンドの純資産総額に対する割合、国別配分および通貨別配分の比率は当マザーファンドの組入有価証券の評価額合計に対する割合です。

ピクテ (CH) プレシャス・メタル・ファンドーフィジカル・ゴールド

(2020年9月30日現在)

■基準価額の推移



・基準価額の推移は当組入ファンドの直近の計算期間のものです。

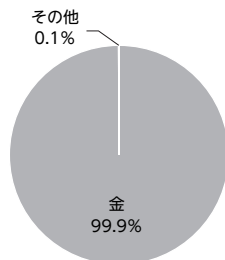
■組入上位10銘柄

(組入銘柄数：2銘柄)

	銘柄	比率
1	GR. OR (BARRE 12.5KG 995 OU MIEUX)	97.1%
2	GR. GOLD (LINGOT 1 KG 999.9)	2.8%
3	—	—
4	—	—
5	—	—
6	—	—
7	—	—
8	—	—
9	—	—
10	—	—

・比率は当組入ファンドの純資産総額に対する割合です。
 ・全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

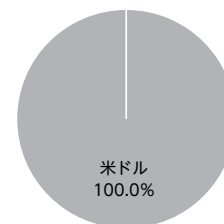
■資産別配分



■国別配分

該当事項ありません。

■通貨別配分



・資産別配分の比率は当組入上位ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分の比率は当組入上位ファンドの組入有価証券の評価額合計に対する割合です。

■1万口当たりの費用明細

当該情報につきましては開示されていないため、記載することができません。なお、損益計算書については運用報告書（全体版）に記載されています。

指数に関して

○「代表的な資産クラスと騰落率の比較」に用いた指数について

■東証株価指数（TOPIX）（配当込み）：

東証株価指数（TOPIX）は、東京証券取引所第一部に上場している内国普通株式全銘柄を対象とし、浮動株ベースの時価総額加重型で算出された指数で、同指数に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社東京証券取引所（以下「東証」といいます。）に帰属します。東証は、同指数の指数値およびそこに含まれるデータの正確性、完全性を保証するものではありません。東証は同指数の算出もしくは公表方法の変更、同指数の算出もしくは公表の停止または同指数の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

■MSCIコクサイ指数（税引前配当込み）：

MSCIコクサイ指数は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

■MSCIエマージング・マーケット指数（税引前配当込み）：

MSCIエマージング・マーケット指数は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

■NOMURA－BPI国債：

NOMURA－BPI国債は、野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。同指数の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属しています。また同社は同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、当ファンドの運用成果に関して一切責任を負いません。

■FTSE世界国債指数（除く日本）：

FTSE世界国債指数（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券指数です。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

■JPモルガンGBI－EMグローバル・ディバーシファイド：

JPモルガンGBI－EMグローバル・ディバーシファイドは、J.P.Morgan Securities LLCが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的な指数です。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。同指数の著作権はJ.P.Morgan Securities LLCに帰属します。